

32. 血管外科

血管外科部長 松元 崇

2022年の飯塚病院血管外科ですが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う第6・7・8波に伴う診療制限の影響を受けたものの、最終的には例年と同程度の手術件数を維持することができました。

末梢動脈疾患においては、いわゆる重症虚血肢（包括的下肢慢性虚血）に対する血行再建（バイパス手術・EVT・ハイブリッド）を中心に診療を行っております。

下肢静脈瘤については、血管内レーザー焼灼術およびグルー治療のいずれの治療法も選択可能となっております。さらなる低侵襲化の試みとして、これまで小切開を要していた側枝静脈瘤に対する瘤焼灼術を始めました。穿刺のみで治療が完遂でき、皮膚切開が不要なため術後の傷が目立たず、抗凝固薬を服用されている方でも出血などのトラブルが少ない治療となっております。

今後も一層のご指導、ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

2022 年診療実績

手術症例数

末梢動脈疾患

バイパス移植術：24（下腿・足部動脈：12、膝下膝窩動脈7、その他5）

EVT：26（含むハイブリッド治療7）

動脈血栓内膜摘出術：11、動脈塞栓除去：4

末梢動脈瘤手術：4、血管吻合術：27

静脈疾患

下肢静脈瘤血管内焼灼術：66

腹部大動脈瘤・腸骨動脈瘤（心臓血管外科と重複あり）

人工血管置換：15、EVAR：40

その他：5

総手術数 224 例